

【レジメン名】 mFOLFOX6+パニツムマブ療法

【病名】 RAS 野生型 切除不能・進行再発の大腸癌

【投与量】

Day 1 に投与

パニツムマブ 6 mg/kg : 60 分かけて※<sup>1)</sup>  
オキサリプラチン 85 mg/m<sup>2</sup> : 120 分かけて※<sup>2)</sup>  
レボホリナートカルシウム 200 mg/m<sup>2</sup> : 120 分かけて※<sup>2)</sup>  
フルオロウラシル(急速静注) 400 mg/m<sup>2</sup> : 全開投与(10 分ぐらいかけて)  
フルオロウラシル(持続静注) 2400 mg/m<sup>2</sup> : 46 時間持続投与

1 クールを 14 日間とする

※<sup>1)</sup> 投与量 1000 mg 超える場合 90 分以上かけて

※<sup>2)</sup> 同時に投与

	Day 1	Day 2	…………	Day 15
パニツムマブ	↓			↓
オキサリプラチン	↓			↓
レボホリナートカルシウム	↓			↓
フルオロウラシル(急速静注)	↓			↓
フルオロウラシル(持続静注)	→	→		→

★備考

- ・ パニツムマブ、オキサリプラチン投与時に発現する infusion reaction、過敏症を軽減させる為、投与前に抗アレルギー剤（ジフェンヒドラミン等）の投与を施行
- ・ 中等度催吐性リスク